

靜寬院宮幼時の御姿に擬せ「鏡様」人形の頒布



「女子ノ身ヲ以テ國難ヲ匡濟スルノ用ニ供スルコトヲ得バ水火ノ中ニ投ズルモ辭セズ」と悲壯なる決意を以て、徳川十四代將軍家茂公に御降嫁遊ばされたる和宮様、後の靜寬院宮様こそは、洵に我が殉國犧牲の象徴にして、又その貞烈淑正の令徳は萬代婦道の典型として國民齊しく仰ぎ奉らねばならぬことでもあります。

今日本會に於ては宮様御婦徳宣揚の一助として「鏡様」人形を廣く同好の士に頒布することにいたしました。此の御人形の原型は宮様の側近者を出せる正六位法有字家所藏にかゝる由緒深き御人形にして、人形製作の大家山田徳兵衛氏が謹製したるものであります。尙此の御人形の原型は國定教科書小學國語讀本卷十二にも登載され宮様の尊容を偲び奉る史料の確實なるものはこれ以外にはないのであります。又本人形の添書中には宮様の御眞蹟の對鏡の御歌を奉載し、題字は御宗家徳川公夫人泰子の直筆にかゝるものであります。冀くば江湖の諸賢の御賛同により廣く一般家庭・幼稚園・小學校・女學校等に奉安されんことをおすゝめ致します。

「鏡様」人形

御身長 髻先まで 曲尺六寸五分
 黒塗臺及び桐箱付

送料 東京市内 十二錢 樺太・臺灣 六十二錢
 内地一般 二十一錢 朝鮮・滿洲國
 但し代金引替の場合 十八錢増

金拾八圓也

頒布先

取次所

東京市芝區芝公園増上寺中

財團 靜寬院宮奉讚會
 法人

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

電話 大塚三一四二番
 振替口座東京一七二六六番